

オオムラサキ



表



裏

食草：エノキ

分布：日本国内にふつうに生息していますが、山間部のチョウで都市部では見られません。

生態：年に1度、6月から7月にかけて発生しますが、山地の樹木の高いところを飛ぶので、なかなか見つけにくいかもしれません。樹液などにみつをすいに来ているときは観察しやすいでしょう。冬に、エノキの根もとの落ち葉をめくると、ゴマダラチョウの幼虫とともに、オオムラサキの幼虫が越冬しているのが見られます。日本の国蝶に指定されています。



食草：エノキ

オオムラサキの生態



えつどう
越冬幼虫 (体長 2 cm)



しゅうれい
終齢幼虫
(体長 5.5 cm)



さなぎ
蛹 (体長 4 cm)



オス



メス